



神戸ふれあい工房 NEWS!



平成23年度になりレジスターを変更致、昨年より止まること数回、レジが打てないなどの、トラブル続きもこれで解消する事が出来ました。

今回レジスター変更に伴い、店舗レイアウトも変更ここ数年、商品点数が増え続け、狭い店内に無理やり商品陳列をし、車椅子も通りづらい店内通路でしたが商品の整理をし、車椅子でも店内商品見ていただけるように変更いたしました。皆様のご来店をお待ち致しております。

(店長 野村和美)



おかげさまで
1周年を迎えました!

カフェセルプも4月5日をもちましてオープンより1周年を迎えました。1周年記念の先着300名様へのお菓子のプレゼント、ドリンクの割引サービスも多くの御客様に喜んでいただきまして好評のうちに終える事ができました。また、5月より新ドリンクメニューの桃ジュース、スパークリングジュースも販売をスタートいたします。お近くに御越しの際には、ぜひカフェセルプにお立ち寄り下さいませ。スタッフ一同、皆様の御来店をお待ちしております。
(フロアマネージャー 戸川将洋)



研修生3名が、カフェでの接客やお弁当配達に奮闘中です♪

～平成23年度会員募集中!～

兵庫セルフセンターは「障がいのある人たちの働く願いを社会につなぐ」をスローガンに掲げて日々活動しています。この活動の趣旨をご理解の上、ぜひ会員となってください。労力・知識・技術・経験などみなさまのご支援をいただき、共に事業の推進にご協力ください。

- 年会費：正会員 5,000円、賛助会員 3,000円 (1口) 特別会員 5,000円
- 振込先：ゆうちょ銀行 099店 00970-7-265281 特定非営利活動法人兵庫セルフセンター

(発行・編集) 特定非営利活動法人兵庫セルフセンター
(お問合せ) 兵庫県社会就労センター協議会・特定非営利活動法人兵庫セルフセンター
〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター6階
TEL: 078-414-7311 FAX: 078-414-7312
E-mail: selp-kobe@deluxe.ocn.ne.jp HP: http://www.hyogo-selp.jp/



〈発行・編集〉
特定非営利活動法人
兵庫セルフセンター
神戸市坂口通 2-1-1
兵庫県福祉センター6階
TEL: 078-414-7311
FAX: 078-414-7312

「東日本大震災」被災地への思い。 ～ 今、わたしたちにできること ～

3月11日に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0の地震と津波により、未曾有の大災害を引き起こしました。

兵庫セルフセンターでは、震災発生後、今すぐ我々にできることとして、募金活動をすすめることとしました。

今回の災害では、被害の範囲の広さから、我々の経験した阪神大震災よりも、より多くの義援金が現地では必要と予想されます。この募金を初めとして、今後も被災地を応援する活動を進めていく予定です。皆様、どうかご参加ください。



陸前高田市

「人つながりは希望、仕事は元気の基」

この度の東日本大震災で被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。たまたまテレビに国会中継を見ていた最中、ピシピシという変な音と長い横揺れを体感しました。テレビはすぐ地震情報に切り替わり、しばらくたって津波の、まさしく今起きている状況が映し出されました。迫り来る津波の凄まじい光景に「早く早く逃げて!!」と届かない声を上げていました。

16年前の阪神・淡路大震災を体験した人は、知らずうちに、「地震から何年』とか、「地震の前や後」という風にあの日を基軸に時を語る人が多いです。そう・・・あの時・・・私達は崩壊した街で、無くした大切な人や家や職場や物を思い悲嘆にくれていました。

災害地に暮らす障害のある人たちの生き辛さはひとしおでした。仕事をなくし、行き場をなくし、明日が見えず不安ばかり募ります。誰もが、『なんでもない日常』の尊さを知りました。あの頃は、危機に備える必要を痛感したはずなのに、何時しか気が緩んでいたと思います。そこへ今回の災害が起きました。

阪神の時の体験がよみがえり、被災した方々の恐怖や不安・・・が共感できます。何かお役に立てることを・・・と願わずにおれません。16年前から今日の復興まで、どんなに多くの方の支えをいただいていたことでしょうか。

『人つながりは希望』だと思っています。そして『仕事は元気の基』です。障害のある人たちの希望と元気の基をセルフは支えなければと思います。無くしたものの大きさは測り知れないけれど、人つながりで元気になっていただけるように、必ず蘇り復興できるように、我々は微力だけれど長く支援の思いを持っていきます。
兵庫セルフセンター 理事長 小川美知子



【義援金振込先】

(郵便振替口座) 00900-0-171297
(他行から振込の場合)
店名: 〇九九店 (ゼロキュウキュウテン)
店番: 099
口座: 当座 0171297
名義: 特定非営利活動法人兵庫セルフセンター

東日本大震災

全国社会福祉協議会からの派遣要請により、兵庫県社会就労センター協議会及び兵庫セルフセンターから、3名が被災地へ訪問し、現地調査を行いました。

4月1日～7日の1週間、岩手県陸前高田市～大船渡市～釜石市の障害者施設・高齢者施設・居宅介護事業所保育所・避難所を訪問してきました。被災地の現場、現場で見てきたことは、このように短い文書でも表現できるものではありません。

被災地での活動を終えて、神戸に帰ってからはテレビでの報道などを直視できないでいました。

失った家族、住居、作業所、備品、仕事、避難所解散後の孤立、余震に震えながら過ごす日々・・・本当に応援が必要なのは、これからの長期間だと感じました。僕たちが想像できることは限られ、1週間の活動で出来ることも限られていましたが、見てきたこと、感じてきたこと、出会った人たちのことに想いを馳せながら、少しでも次につなげていけるよう行動してきたいと思います。

(萩原護)



全国の小学生からの 応援メッセージ!



「津波の後ろに海底が見えた！」海岸地帯にあった店舗から、利用者と必死で丘に登って助かった職員の方から聞いた話です。身震いしました、丁度その時に震度4の余震があり、横揺れの不気味な体験をしたので、その職員の証言が一層迫力を増したコトバとして強烈に印象に残っています。

兵庫県社会就労センター協議会 正心副会長と全国セルフの情報収集担当として、4/2から岩手、宮城、福島を青森空港からレンタカーで回ってきました。風景が無くなり更地になった大地、大気観測車が走り回り、不安を煽る街中、言葉が出てこない。僕たちには何なのか、何が求められているのか必死で探し回り、東京での対策本部 会議で報告してきました。が、不完全燃焼の自分が居る、すぐにでも現地に戻りたい自分がいます。

(兵庫セルフセンター 副理事長 山崎玲輔)

阪神淡路大震災 を経験して...

～ NHKラジオ深夜便より ～ (1995年7月12日放送 小室等さんと対談)
「こんなときこそ、セクト関係なくね・・・ややこしいセクト抜きにして、仕事をどうするか? 団体を越えて、作り上げる段階から皆でやらないと作業所の問題を解決していけない。」 (小川美知子)

このラジオ出演が一つの契機となって、当時新生会理事長の小川が、兵庫セルフセンターの理事長に就任することになったそうです。

平成 23 年度 兵庫県障害者インターンシップ事業

障害のある方が自分に合った仕事や働き方を見つけ、働く意思や自信を深めることにより、一般就労へのステップアップにさせていただくことを目的とした「平成23年度 兵庫県障害者インターンシップ事業」を、下記の内容で今年度も実施いたします。詳しくは兵庫セルフHP内にも掲載の募集要項をご覧ください。

- ①企業等インターンシップ
- ②県庁職場体験センター事業
- ③精神障害者県庁職場研修事業 (県障害者支援課を主な研修場所とする)

(担当者より)

今年度もインターンシップを担当させていただくことになりました。

昨年度以上に研修生の皆様のニーズに応えることができるように努力いたします。カフェセルフへの研修生の応募ドシドシお寄せください。今年度もよろしくお願いいたします。(小野健作)

授産活動アドバイザー事業のお知らせ

- ❖ 販路拡大のために商品をレベルアップしたい! でも、どうすれば・・・?
- ❖ 自施設のホームページを開設したい! でも、どうすれば・・・??
- ❖ 商品PRのためのチラシを作りたい! でも、どうすれば・・・???



このようなお悩みがあることはございませんか?

そんな時は、ぜひ授産活動アドバイザー (専門家) 事業にお申込ください!

各分野の専門家が、皆様の施設・作業所へアドバイスに伺います!

募集要項 (兵庫県委託事業)

- 派遣費用 無料
- 回数・時間 5回以内、1回につき3時間以内
- 対象者 職員
- 申込方法 「授産活動アドバイザー派遣申込書」に記入後、FAXまたはMailで申込み (兵庫セルフHPよりダウンロード可)

派遣例)
食品アドバイス
ホームページ製作
デザイン指導
会計事務
etc...



食品担当の西岡です。カフェセルフでは弁当事業を担当しています。

惣菜など食品の商品開発・品質管理・衛生管理など経験しました。「?」を「!」に変えるアドバイスができればと思います。

(西岡真紀)



デザイン担当加藤です。商品のデザイン等何でも

ご相談下さい。カタログや商品開発にも力を入れ、一緒に売れる製品作りをしていきたいです!

(加藤千賀子)